

【基本情報】

クラブ名	テゲバジャーロ宮崎
活動テーマ	Jリーグ開催にあたって、裏側の仕事を知り、選手としての意識を高める。
実施場所	いちご宮崎新富サッカー場
参加者	森田 礼、長友 海翔、木原 仁
活動期間	2025 年 4 月 12 日

【活動報告詳細】

■活動目的

多くの関係者の方々と積極的に関わり、Jリーグを作っていることを感じる。

■活動内容

設営、VIP席の食事の準備・運搬、スポンサー様への挨拶、接客

■選手コメント

森田 礼選手

今回、試合運営に携わせていただき、改めて自分たちは多くの方々の支えによってプレーできているということを実感しました。選手よりも早く来て、様々な準備をする姿に感謝するばかりでした。このことに気付くことができたのは、実際の活動を見ると同時に自分が体験できたからで、とても良い機会になりました。

今後は感謝の気持ちを忘れず、チームを支えてくださる多くの方々に喜んでいただけるよう、そして、恩返しができるよう、プレーから表現していきたいと思います。

長友 海翔選手

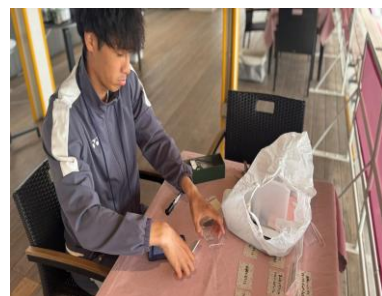
初めて試合運営の裏側にボランティアとして携わせていただき、日頃の試合から皆様がお客様のために、朝から様々なお手伝いをしてくださることで、1 試合 1 試合が成り立っていることを実感することができました。また、宮崎の地元の材料を使った料理を提供しており、ものすごく美味しく、とても充実した環境が整っていると感じました。今後はより一層、様々な方々への感謝の気持ちを持ち、その想いをピッチ上で表現していきたいです。

木原 仁選手

自分はこれまで表に見える部分しか意識していませんでしたが、今回、裏側の仕事を体験させていただき、こうした支えがあるからこそ、気持ちよく試合ができること、応援していただけることを強く実感しました。

今後は、そのような方々の存在をさらに深く知る努力をし、感謝の気持ちを胸にプレーで恩返しをしていきたいと思います。そして、会場でお会いした際には、直接、感謝の想いを言葉で伝えることも意識的に行っていきます。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	テゲバジャーロ宮崎		
活動テーマ	子ども食堂×テゲバジャーロ宮崎 愛あるごはんを届けようプロジェクト		
実施場所	カフェさくらんぼ		
協働団体	支え合いの地域づくりネットワーク	児湯養鶏農業協同組合	JA 宮崎中央青年部
	宮崎県農協果汁株式会社	ヤマエ食品工業株式会社	
参加者	森田 礼	渡邊 星来	
活動期間	2025 年 7 月 12 日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

子どもの地域交流・貧困対策

■活動内容

テゲバジャーロ宮崎では、協賛企業からご提供いただいた食材を 子ども食堂を支援する「支え合いの地域づくりネットワーク団体」に届けています。同団体は、その食材をさらに地域の子ども食堂へ配布し、子どもたちの食支援に活用しています。

■選手コメント

森田礼選手

今回の研修では、子どもたちと食事をしたり遊んだりして地域交流を深めることができました。その中で、子ども食堂という活動・環境の素晴らしさを実感し、子ども食堂があることで新たな地域交流が生まれるのだと感じました。また、本活動を通して改めて多くの方々に応援していただいていることを実感しました。今回交流した子どもたちに応援してもらえよう、今後は自分のプレーや立ち振る舞いで示していきたいです。今後もこのような活動に積極的に参加したいと思います。

渡邊星来選手

今回の活動を通して、子どもたちや地域の方々にどれほど応援していただいているのかを改めて実感しました。食事をしながら子どもたちとさまざまな話をし、元気をもらい、有意義な時間を過ごすことができました。将来、「テゲバジャーロ宮崎のユニフォームを着て自分もピッチに立つんだ」と話してくれた少年を見て、自分もさらに頑張らなければならないと強く感じました。今後もこのような活動があれば、ぜひ参加したいと思います。

■活動写真



【基本情報】

クラブ名	テゲバジャーロ宮崎		
活動テーマ	もったいないをありがとうに「フードドライブ」		
実施場所	宮交シティ 1F アポロの泉		
協働団体	テゲバジャーロ宮崎	宮崎市子ども未来部子 育て支援課	支え合いの地域づくりネ ットワーク
参加者	長友海翔	木原仁	河合駿樹
活動期間	2025 年 8 月 16 日(土)		

【活動報告詳細】

■活動目的

食品ロスの削減

■活動内容

各家庭で使いきれない、食べきれない食品などを回収し、集まった食品を、支え合いの地域づくりネットワークが市内の子育てを支援している機関や団体に寄付し、活用していただくプロジェクト。

■選手コメント

長友海翔選手

子ども達や地域の方々のために行う子ども食堂は、1 回の開催においても多くの方々の協力が必要であることを知りました。また、その活動のために尽力している方々の心の広さを、今回のフードドライブという企画を通じて学ぶことができました。宮崎にも多くの子ども食堂があり、子ども達に無料または低価格で食事を提供するフードドライブは非常に重要な活動であると感じました。今後は、自らもフードドライブなどを通じて地域社会への貢献を果たしていきたいと考えています。

木原仁選手

今回のフードドライブ研修を通じて、集めた食材をお届けしている子ども食堂について理解を深めることができました。これまで子ども食堂という場所があることを知りませんでした。そこは単に食事を提供する場にとどまらず、地域の方々との交流や、子どもたちが困ったときに相談できる心の拠り所となっていることを学びました。今後は、食べきれなかった食材をフードドライブに提供するなどして、子ども食堂の活動に少しでも貢献していきたいと考えています。

河合駿樹選手

今回の研修を通じて、フードドライブの目的が食品ロスの削減であることを改めて知りました。また、支え合いの地域づくりネットワークが集まった食材を子ども食堂へ届けていることも理解しました。子どもたちに無料または低価格で食事を提供し、さらに地域の人々との交流の場を創出することで、子どもの居場所づくりを支えているという点に深く感銘を受けました。このような学校以外のコミュニティがあることによって、楽しみや救いを得ている子どもたちが多くいるのだらうと強く感じました。

■活動写真

